

平成 30 年度起業体験ワークショップ 実施報告

1. 趣旨

「地方創生人材」の育成及び育成環境の整備に向けて、その担い手となる起業家精神とスキルを持った人材を効果的に育てる手法を構築するため、起業体験ワークショップを開催いたしました。

2. 実施結果

- 実施日：平成 30 年 12 月 9 日（日）
- 参加者：約 50 名
【内訳】高校生（9 名）、中学生（7 名）、講師（3 名）、銀行員役（4 名）、参加者補助（5 名）、保護者・教員等（約 10 名）、事務局（11 名）

3. 実施内容

①指導者教育（平成 30 年 12 月 8 日 17：00～19：00）

銀行員役としてご指導頂く山形銀行、荘内銀行、米沢信用金庫、日本政策金融公庫米沢支店のご対応者様およびファシリテーターとして参加者をサポートする山形大学のファシリテーターが、起業家教育の背景と意義、ワークショップの概要、指導方法等について講義を受けました。



①開会・アイスブレイキング（9：00～）

遠藤副市長の開会挨拶に続き、アイスブレイキングとして、他己紹介をしました。紹介する相手の趣味や関心のあることの聞き取りを行うことで、グループ内の距離感を詰めるとともに、コミュニケーション能力を高める仕組みが盛り込まれました。



②会社をつくる

会社をつくり、運営する一連の流れを参加者自身で考えるとともに、役割分担によって、自身と他人の得手不得手を認める力を養いました。

「冬を快適に過ごすグッズ」というテーマに沿った商品を製造・販売するため、ニーズ調査に基づく事業計画を策定しました。論理的思考力や情報収集能力等起業家としての能力が養われました。



③金融機関開店

事業資金獲得のため、事業計画に基づいて銀行員役に融資を申し込みました。

銀行員役との折衝を通じて、プレゼンテーション能力、人の話を理解し、それを活かす力、チャレンジ精神等が養われました。

また成功体験（審査突破）によって自信も生まれました。



④販売・振り返り・閉会

ポスターに加えて動画を使った宣伝をするなど、工夫が見られました。マナーを守り、しっかりと自分たちの商品を販売しました。

最後に決算を行い、返済を行うことで、社会の仕組みや金融機関の役割を学ぶことができました。

振り返りでは、銀行員役の方から「もっとチャレンジマインドを持ってほしい」と、厳しくも温かいお言葉を頂きました。



4. 感想・コメント

● 参加者の感想

- ✓ 調査をして作ろうとするもののターゲットを絞ることができて、実際に売れたのが良かった。会社の中でもっとコミュニケーションが取れると良かったと思う。
- ✓ クリエイティブなことができて達成感があった。ただ、コストや品質の管理がうまくできず、難しかった。
- ✓ 自分の役割に責任を持つことは学校とは違う体験。体験できてよかった。計算が合ったときには喜びが多くて良かった。

● 保護者の感想

- ✓ 「難しかったけど楽しかった！」と笑顔で話してくれた。
- ✓ 単発でなく、継続して実施することによって、子どもの学びが深まると思う。
- ✓ 子ども自身が自分の進路を決めるにあたり、選択の幅を広げ、視野を広げるきっかけになった。

● 銀行員役からのコメント

- ✓ 今日の体験をもとに、もっとまちの会社のことを気にしてみしてほしい。きっと今までとは違って見えて楽しくなる。
- ✓ 大人の我々から見ても難しいプログラム。それをやり遂げたことは素晴らしいこと。自信を持ていい。